

株式会社クリハラ

代表取締役

岩淵 真知子

株式会社クリハラの二代目社長。

言葉の端々からは、会社と従業員、そしてその先のお客様に対する深く温かい想いが溢れていました。会社の経営において、従業員一人ひとりを持つ様々な背景や人生そのものを尊重したいという強い想いをもち、クリハラの「人」を大切にすることを育んでいます。



## 「スーパーマーケットのベストパートナー」 お客様ファーストを超えた、共創のものづくり

関東近郊のスーパーマーケットを対象に、お惣菜のベースとなる「惣菜キット」の提供を行うクリハラ。社長は自社を「究極の御用聞き」と語ります。それは、ただ言われたことをやるのではなく、お客様の要望の真意を汲み取り、その要望を具現化するための提案を行い、共に商品を作り上げていく存在。クリハラは単なる受託企業ではなく、「食のパートナー」として価値を共創している会社でした。マニュアルのない世界でチームの知恵を集める仕事の面白さ、従業員一人ひとりの「人生」に寄り添う組織文化に迫りました。

**Q. 御社ならではの仕事の面白さや難しさについて教えてください。**

クリハラの仕事の根幹は、お客様一社一社の「こんな商品が欲しい」というご要望に100%お応えする「究極の御用聞きスタイル」です。他社では効率を考えてお断りをしているような、手間のかかる小ロットの依頼にも積極的にお応えしています。その対応力が当社の最大の強みです。

商品を製造する上で、特に難しいのが、「野菜」という商材の特性です。野菜は一つひとつ形も大きさも状態も異なり、決して同じものはありません。例えば、「パプリカを12分の1にカットして」というご要望があっても、元のパプリカの大きさが物によって違えば、仕上がりの大きさも変わってしまいます。文面通りに作業するだけでは、お客様が本当に求めている商品にはなりません。

ん。だからこそ、部門を超えた密なコミュニケーションが不可欠になります。惣菜プランナー、商品開発、製造の各担当者が「お客様はなぜこのサイズを求めているんだろう？」「どうすれば安定した品質で届けられるだろう？」と知恵を出し合い、最適解を見つけ出します。こうした日々の試行錯誤とチームプレイこそが、この仕事の面白さであり、最大のやりがいだと感じています。

**Q. 「食卓を明るく豊かに」という企業理念を掲げていらっしゃるようですが、この理念は従業員の皆様の仕事にどのように反映されているのでしょうか。**

私たちは、単にお腹を満たすための「食品」を作るのではなく、食卓を囲む「楽しい空間」そのものをお届けしたいと考えています。そのため、惣菜プランナーには商品提案時に、「この商品でどんな楽しい食卓が生まれるか」という空間までを想像し、提案をするよう伝えています。また最近では、生産者の顔が見える商品づくりにも力を入れています。商品開発の担当者が直接生産者のもとへ伺い、どんな想いで野菜を育てているのかをインタビューし、そのストーリーをお客様に届ける、といった取り組みも行っています。

単なる作業として商品を製造するのではなく、その先にあるお客様の笑顔や、家族の団らんを想像しながら、全従業員が日々の仕事に取り組んでいます。



この想いが、クリハラの作る商品一つひとつに温かみを与えているのだと信じています。

**Q.従業員一人ひとりの人生に寄り添う、温かい社風が魅力だと伺いました。皆さんが安心して、かつ成長しながら働き続けるために、会社として大切にされている考え方を教えてください。**

私は「働く」ことについて「働くために生きるのではなく、生きるために働く」と考えています。仕事が人生の全てではありません。従業員一人ひとりには、その人だけの人生や家庭環境、ライフステージがあります。そのため、各個人のライフステージや想いに応じた働き方を提供したいと思います。例えば、子育て中の社員から、「仕事と子育ての両立が難しい。もう少し子供の時間を大切にしたい」という声が上がれば、時短勤務の期間を調整・延長するなど、個々の事情に対応することもあります。

その他にも、誰かが子供の熱で急に休まなくてはならなくなった時も、「お互い様」と自然に支え合える文化が根付いています。これは単なる「優しさ」とは少し違います。従業員には正社員・パート・アルバイトと立場を問わず、日頃から自分の仕事に責任を持ち、周りとの信頼関係を築いておくことが大切と伝えており、その信頼関係があるからこそ、いざという時に助け合える環境が成り立っています。決して何でも要望が通る環境ではありません。一人ひとりの人生を尊重し、互いに支え合いながらも、個として自立し、共に成長していく。そんな組織でありたいと考えています。

**Q.農業支援など、事業の未来を見据えた新たな挑戦も始められていると伺いました。岩淵代表が思い描く未来とはどのようなものなのでしょうか？**

私は、様々な方面に事業を広げていくというよりは、今あるメインの事業から派生する形で、お客様や社会との繋がりをより深くしていくことを目指しています。

その中で今まさに力を入れようとしているのが、「農業支援」です。国の補助金もいただけることになったため、現在本格的に準備を進めているところです。

当社の仕事は、野菜を作ってくださる生産者がいて初めて成り立ちます。しかし、ご存知の通り日本の農業は生産者の高齢化が進み、10年後には国産の野菜が食卓から消えてしまうかもしれない、という危機的な状況にあります。当社が大切にしている「生産者の顔が見える商品」をお届けし続けるためにも、事業の源流である生産者を支えることは、会社の未来にとって不可欠です。

具体的には、ドローンを活用した農業のIT化やノーマライゼーションの推進等を考えており、お付き合いのある生産者のサポートを行うことで、高齢化による人手不足を解消し、お互いにとってWin-Winの関係をさらに強固なものにしていきたいと考えています。これは単なるボランティアではなく、日本の食卓、そして私たちの事業基盤を守るための大切なビジネスです。

これからも「食卓を明るく豊かに」という理念を軸に、食を取り巻く人々との繋がりを大切にしながら、事業を着実に成長させていきたいと考えています。



## Q.会社の未来を創っていく上で、これから仲間になる若い世代の皆さんに期待することやメッセージがあれば教えてください。

正直なところ、私から皆さんに『こうなってほしい』と一方的に期待することはありません。期待は時に意図せぬ方向に働くこともありますし、会社が個人のあり方や生き方を決めるべきではないと考えているからです。

その大前提の上で、強いて皆さんに望むことがあるとすれば、「この会社で何かにチャレンジしたい」という気持ちです。私は、会社を「社員がチャレンジするためのプラットフォーム」だと考えています。そのため、社員から『こういうことに挑戦したいけれど、会社の制度が壁になっている』という声が上がったとすれば、それが理に適っていることであれば、その弊害を取り除くために全力で動きます。

会社は従業員のアクションがあって初めて変わっていきます。逆に言えば、あなた自身の意志と行動で、あなた自身の仕事を作り上げていくことができますし、会社の環境や制度までも変えることができる可能性もあります。実際に、『この仕事をやりたい』という強い信念を持って入社してくれた学生が、今も活躍し続けてれています。

ですから、『温かい社風の会社だから』という理由だけでなく、『この会社を土台にして、自分のやりたいことを実現したい』『仲間と一緒に会社の未来を創りたい』という気持ちを持った方に来ていただくと、とても嬉しいです。

クリハラでのあなたの挑戦を全力でサポートしていきたいと考えています。



## 株式会社クリハラ

KURIHARA CO.,LTD.

採用情報・インターンシップの  
情報はこちら！▼



採用担当：高嶋・石垣

TEL：0270-74-9231

E-MAIL：info@kurihara1993.com